

岩津ネギの品質生産に結びつく 晩播と平床定植用穴あけ器

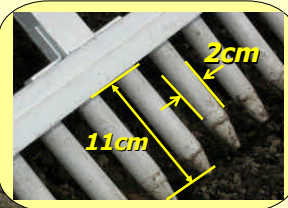
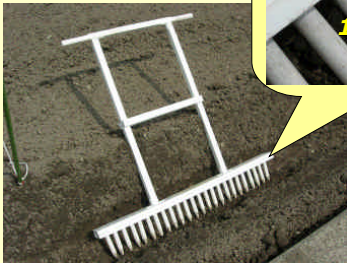
〔背景・目的・成果〕

岩津ネギの慣行地床苗による栽培は、播種が4月で育苗がさび病発生期と重なり、定植は盛夏の7月から8月上旬です。ネギ苗は、植え溝の底に定植するため降雨による湿害により、生育の停滞や病害の発生が見られます。

そこで、①5月播種と②植え溝が不要な平床定植用穴あけ器具による8月下旬の平床定植は、さび病の発生、夏季の高温期定植や湿害を回避でき、その後ネギの生育が旺盛となり高品質生産が可能となります。

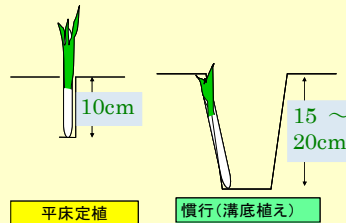
5月播種、8月地床苗平床定植栽培

平床定植用穴あけ器



- ・ 木製、ピンの直径2cm、長さ11cmで先端を円錐型
- ・ 穴の間隔4cmで一度に24か所の植え穴
- ・ 穴あけ器の重さは2.7kg
- ・ 材料はホームセンター等で購入可能、約5,500円

地床苗の定植方法(模式図)

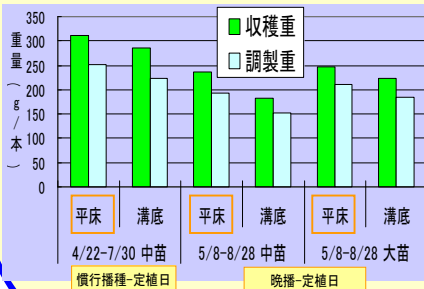


育苗時のさび病回避と平床植えによる湿害防止によるネギの旺盛な生育を図る！！

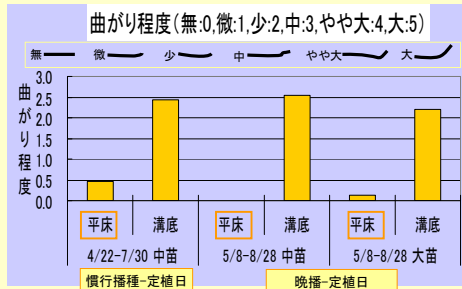


収穫した岩津ネギの根の曲がり程度と根量

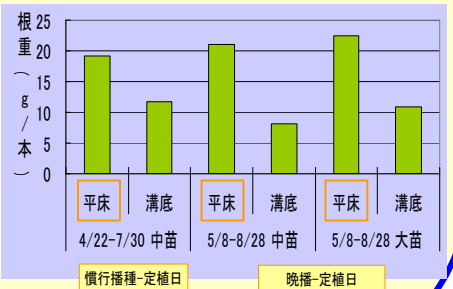
穴あけ器により植え穴を明け、ネギ苗を差し込み定植



平床植えが収穫重及び調整重に及ぼす影響

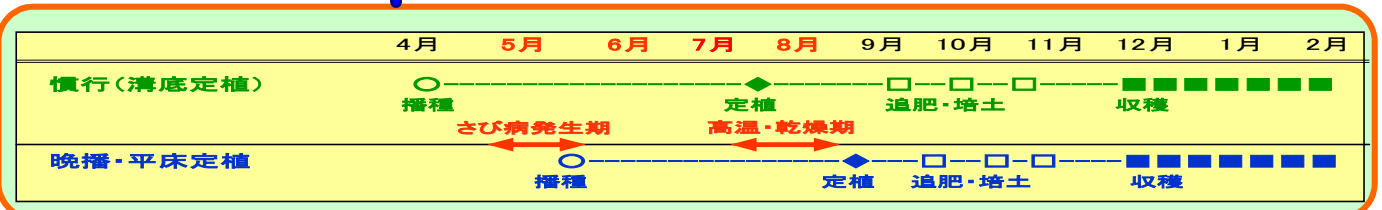


平床植えが葉鞘の曲がりに及ぼす影響



平床栽培が根重に及ぼす影響

晩播、平床定植栽培ごよみ



〔技術の活用〕 本技術は、排水が良いほ場や明きよ等排水対策が行えるほ場で普及を図ります。

平床定植用器具製作用材料は、ホームセンターで安価に購入でき誰にでも簡単に製作が可能です。晩播平床定植は、これまでの栽培様式と同時期に収穫でき、病害の発生も回避できることから、他の秋冬ネギ栽培に広く活用できます。